

日時・場所	平成 30 年 9 月 26 日 (水) 15 : 00~17 : 30 高松市医師会館
参加者	受講者 40 名 行政担当者 3 名
内 容	<p>【テーマ】医療処置が必要な療養者の場の選択支援とケアコーディネーション</p> <p>情報提供： 1 訪問診療について 綾田 潔 先生</p> <p style="padding-left: 100px;">2 訪問看護について 原田 愛 氏 (第 1 期生)</p> <p style="padding-left: 100px;">3 訪問薬剤指導 (薬局) について 石井侑以子 氏 (第 2 期生)</p> <p>事例検討：意思決定支援の事例</p>
結 果	<p>情報提供：</p> <p><u>1. 訪問診療について</u></p> <p>○在宅医療を取り巻く背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度の診療報酬改定により急性期病院でのアウトカム重視や慢性期病院での入院期間設定がなされるなどの理由により入院患者の在宅医療への移行が促され、これまで入院中に行われていた治療、処置を必要とする在宅患者が増加していると思われる。 <p>○在宅医療の質的变化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近在宅医療で用いられるようになった機器や薬剤の紹介 在宅医療のできる検査、処置、治療等が格段に増えており、これらに対応する技能が求められている。 ・在宅医療を展開する場所は多彩 自宅・有料老人ホーム・サ高住、グループホーム、特養、病院・診療所の外来等いろいろとあるが、対応できる患者の医療依存度は関与するスタッフの力量による (場所に依存しない)。 <p>○在宅医療における意志決定、IC、ACP、情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでも在宅医療には依然として資源 (モノ)、人員 (ヒト)、費用 (カネ) に制限がある。入院治療とは違った治療 (ケア) 方針決定の難しさがある (必ずしも EBM に基づかない選択もある)。 ・ACP を実現するには、関わる多職種スタッフの治療 (ケア) に対する意思統一が必要である。それを基に刻々と変化する患者本人・家族の要望を聞き入れなければならない (情報共有の即時性が重要)。 ・情報共有 (意志統一補助) ツールとして、K-mix+ (香川県医師会)、医療 SNS「メディカルケアステーション」(エンブレース)、グループウェア「kintone」(サイボウズ) などデモを交えて紹介。 <p>○在宅医療のあるべき姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療は入院医療費削減のための代替医療ではない。病院の収益性を向上させるためのツールでもない。外来・入院治療、施設ケアの延長上に自然発生的に行われるごく普通の医療であり、ときに新しい在宅医療機器や IoT を駆使し、患者や家族の意思決定を尊重しながら行われるものである (事例紹介により説明)。 <p><u>2. 訪問看護について</u></p> <p>○訪問看護の利用方法と内容</p>

○訪問看護のメリット、デメリット

- ・住み慣れた地域や自宅で最期まで過ごすことができる。反面、介護者の負担が増強する可能性がある。介護者がどこまで医療行為を行えるかも必要な情報となる。介護者の受け入れ状況で在宅療養の可否が問われる。

○在宅と病院の違い

- ・病院は治療が最優先にあり、在宅は生活の中に医療が溶け込むため医療者の立ち位置も必然的に変わってくる。

○自宅で療養するにあたって、必要な支援

- ・痛みのコントロールをはじめ、本人の苦痛、家族のサポートなど家族が支援する時間に問題が最小限になるように支援することが大切。

○在宅医療コーディネーターとしてできること

- ・ネットワークを作ることによって、今まで出来なかった支援が可能になり、相談相手が増え、利用者により良い情報提供や支援が提供できる。

3. 訪問薬剤指導（薬局）について

○在宅医療における薬剤師の役割

- ・薬剤師の在宅での活動内容
- ・薬剤師介入の事例（患者本人・家族の意向を考えて）
 - 事例 1.コンプライアンス不良に対する介入
 - 事例 2.相互作用における効果不良に対する介入
- ・介入の流れ

事例検討：

○グループワーク

- ・意思決定支援シートの活用
- ・意思決定支援の方法について事例を用いて学習した。
 - STEP.1 患者の状況を病状経過と意向に関する情報を整理する。
 - STEP.2 患者の意思決定支援を行う上での課題（ポイント）を挙げる。
 - STEP.3 患者の意思を尊重するために、どのように意思決定支援を進めるか。